

**第18回 再生医療学会総会****展示出展** : 2019年03月21日(木)~23日(土) 3日間**時間** : 9:00~17:30 (最終日16:00まで)**会場** : 神戸国際展示場**展示ブース** : 新技術紹介コーナー 3号館 1F 小間番号 125  
(株式会社シムスバイオ/日昌株式会社 共催展示)**出展品** : 細胞培養シート(TASCL)  
<Tapered Stencil for Cluster Culture>**\*ランチョンセミナー****23日(土)12:30~13:20 第2会場 神戸国際展示場 2号館2F 2A会議室**

再生医療において細胞塊(スフェロイド、胚様体)の有用性が注目されています。このたび新たに商品化された、細胞塊大量培養デバイス「TASCL」(タスクル)のメリットと、細胞塊を用いた再生医療の可能性について講演します。

**Part1 3D細胞クラスター大量培養デバイス TASCLの基礎**

座長1: 林 衆治  
一般財団法人グローバルヘルスケア財団  
理事長

講師1: 池内 真志  
東京大学大学院 情報理工学系研究科  
システム情報学専攻 講師



林 衆治



池内 真志

**Part2 TASCLを用いた半月板再生への試み**

座長2: 黒田 良祐  
神戸大学大学院医学研究科  
外科系講座整形外科学

講師2: 出家 正隆  
愛知医科大学 医学部  
整形外科学講座 教授



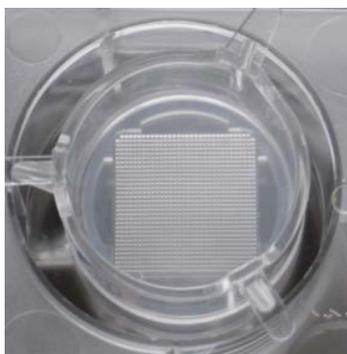
黒田 良祐



出家 正隆

**Part3 座長・講師全員によるトークセッション**

TASCL (タスクル)



【TASCLのメリット】

- 大きさ・形状・品質がほぼ均一な細胞塊を、1プレートで一度に約6000個培養できる。(TASCL1000ウェルを6穴プレートで用いる場合)
- カルチャーインサート上で用いるため、ガスや培地が循環し、細胞の状態を良好に保つ。1ヵ月間の長期培養や分化誘導も可能。
- ウェルが高密度のため、培地や試薬の使用量が少なくて済む。